



げんげんどう

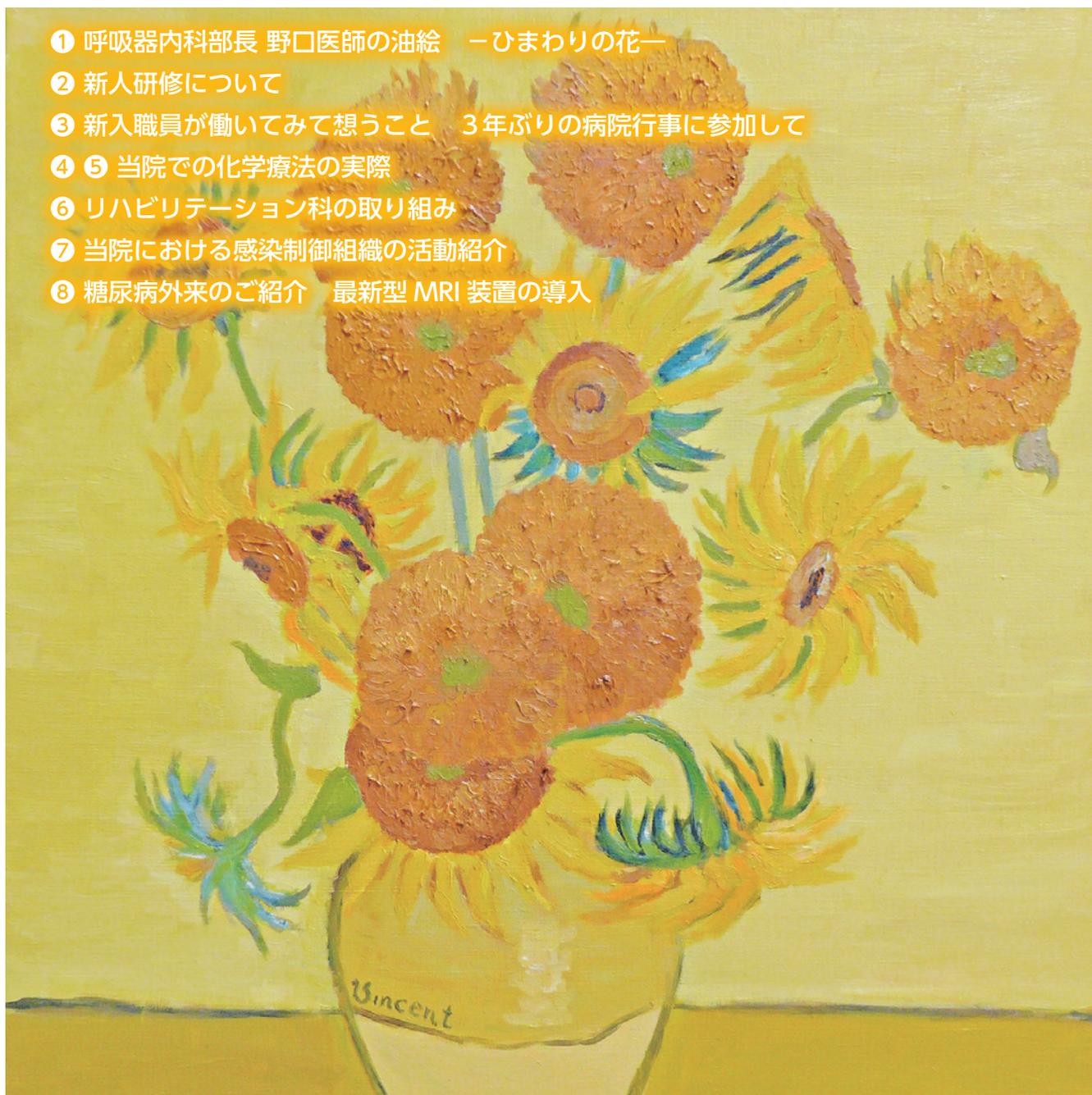
特集

当院での化学療法の実際

2023.7

No. 95

- ① 呼吸器内科部長 野口医師の油絵 -ひまわりの花-
- ② 新人研修について
- ③ 新入職員が働いてみて思うこと 3年ぶりの病院行事に参加して
- ④ ⑤ 当院での化学療法の実際
- ⑥ リハビリテーション科の取り組み
- ⑦ 当院における感染制御組織の活動紹介
- ⑧ 糖尿病外来のご紹介 最新型 MRI 装置の導入



表紙の絵：呼吸器内科部長 野口医師が描いた油絵です。ゴッホはゴーギャンとの共同生活を送るにあたり、夏の花の代表であるひまわりの絵を描きました。当時ゴッホが好んでいた黄色に包まれるような独特の色彩で描かれています。ゴッホ自身も少なくとも5つの色調の異なる模写を作成し、大英博物館をはじめ日本の保険会社の美術館など世界各地に展示されています。

新人研修に

ついていて

4月に新入職員が入り、各部署で新人研修が開始されています。どのように育成をしているのかをリハビリテーション科、臨床工学科、看護部に伺いました。

リハビリテーション科 科長 森 陽介

院内の新入職員オリエンテーション後、リハビリテーション科の業務についてオリエンテーションを行います。その後はOJT(On the Job Training)として、3年目の先輩スタッフと一緒に行動しながら業務や患者さんの対応について学んでいき、約2か月の研修期間を経て徐々に一人で業務にあたります。業務に慣れてきた頃には新人スタッフによる症例発表を行い、セラピストとしての知識・技術の習熟度や今後の課題等を把握し、個人の成長に合わせたフォローアップを行っています。



また、入職1か月後には面談を行い、リアリティショック(理想と実際の仕事とのギャップ)で

困惑していないかも確認しています。こうした面談はその後も適宜行い、「二人で悩まない環境」「笑顔で働ける環境」づくりを目指しています。

臨床工学科 主任 三浦 英貴

私達臨床工学科は、主に透析室で働いています。しかし、学校では透析についてそれほど多くのことを学んできていません。そのため、透析について講義し、OJTで指導者がやってみせ、説明した後に新人にやってみてもらって評価するという方法を行っています。実践を重ねることで知識と技術を身につけられるように指導しています。

新人が成長する段階では、患者さんの協力が必要となる内容があります。指導スタッフから患者さんに内容をお伝えした上で、ご協力をお願いすることがあります。患者さんには断っていただいてもかまいませんが、新人を育てる気持ちでご協力いただけたら幸いです。



透析に限らず、業務内容は多岐に渡るため1年を目安に指導していますが、早く一人前として患者さんに安心して治療していただけるように、知識と技術を向上させるべく、スタッフ一丸となって計画的に指導しています。是非、新人たちの成長を

温かい目で見守っててください。

看護部教育担当部長 加藤 久美子

「コウテイペンギン」を知っていますか？ 厳しい自然の中、仲間と助け合って大切に子育てする生態が知られています。その名にあやかり、「コウテイペンギンスタイル」という新人育成を実践しています。就職時の新人はまだヒナペンギン。看護師人生のスタートは期待も緊張もMAXです。

部署ではウェルカムボードで温かく迎え入れ、シャドウイング(先輩看護師に影のように同行して学ぶ研修)で現場を大きく捉える所から始めます。その後はプリセプターという最も身近な先輩を中心に全員が指導者です。研修期間は1年3か月。スマールステップ目標や豊富な集合研修を活用して自立を目指しますが、当然上手くいかない経験もあります。定期面接以外でも日々仲間が気にかかけ、リアリティショックを乗り越えられるよう支援します。



また、「ペンギンカフェ」という定例の集まりでは、食事・睡眠・休暇・勉強の生活基盤の工夫について情報交換して同期の絆を育み、共に歩みます。



3B病棟看護師
山田 芽依

看護師として入職してから2か月が経過しました。入職当初は看護技術を身につけるのに必死でしたが、先輩方が温かく見守り優しく教えて下さったおかげで、今では少しずつ一人で行える看護ケアが増えてきたように思います。

また患者さんにベッド上でリハビリを行ったときに、「リハビリや話し相手になってくれてありがとう」と言われ、こんな私でも人の役に立っているんだと、とても嬉しかったです。

これからも患者さんに対して私が行える看護ケアは日に日に増えていきますが、初心を忘れずに周りに感謝しながら笑顔で頑張っていきたいと思います。



医療ソーシャルワーカー
藤原 麗

4月に入職し、相談員として働きはじめて2か月が経ちました。

慣れない環境と生活で不安の多い入職でしたが、少しずつ職場の環境にも慣れてきました。

日々勉強と業務を覚えることで精一杯ですが、先輩方から丁寧にご指導頂いています。分からないことも聞きやすく、つまづいたときにはフォローして下さり、素敵な職場で働くことができます。

まだ1人でできる業務は少ないですが、徐々に覚え、不安を抱えて来院される患者さんやご家族に安心していただけるよう相談員として精進して参ります。

新人職員が働いてみて想うこと

3年ぶりの病院行事に参加して

リハビリテーション科

理学療法士 鹿山 淳平

入社2年目ですが、1年目は新型コロナウイルスの影響によりマザー牧場ハイキングは中止となり、開催されなかったため今年が初めての参加でした。病院のレクリエーションへの参加も初めてで、プライベートのこともなどを先輩方や同期、新入職の方々と話すことができ、友好を深めることができました。先輩方と仲良くなれたことで、仕事での相談も気軽に行えるようになったため、参加してよかったと思えるイベントでした。

ICU病棟看護師 中萬 ゆき

3年分の期待を胸に参加した新入職員歓迎ハイキングは、自粛生活で衰えた足腰には大きな負担となりましたが、道中、院長先生と話しながら歩くという

貴重な経験もでき、疲れよりも充実した気分になりました。マザー牧場に着いてからは今まで関わる機会の少なかった多くの先輩職員と交流でき、1番楽しみにしていたソフトクリームを先輩にご馳走していただきとてもうれしかったです。来年も是非参加して動物と触れ合いたいです。



マザー牧場でのバーベキューの様子

化学療法は、がん治療の中心的役割を果たしています。

々々堂君津病院 院長 池田 重雄

当院では、抗がん剤、分子標的治療薬、免疫チェックポイント阻害薬を用いてがんを治療する化学療法を採り入れています。手術や放射線治療は病気のある場所に局所的なアプローチを行います。化学療法は内服や点滴で行われ、全身への治療効果が期待できます。そのため画像などで見えないがん細胞に対しても効果が期待でき、現在ではがん治療の中心的役割を果たしています。

各薬剤の特性

抗がん剤 抗がん剤は細胞障害性のある薬剤であり、細胞の増殖の仕組みに着目して、その仕組みの一部を邪魔することでがん細胞を攻撃する薬です。副作用としては、がん以外の正常に増殖している細胞も影響を受けることが挙げられます。しかし、最近では、副作用のコントロールが格段に進歩して、安全に投与できるプロトコルが開発されています。

分子標的治療薬

分子標的治療薬は、がん細胞の増殖に関わるタンパク

質などを標的にしてがんを攻撃する薬です。分子標的治療薬には、「小分子化合物」と「抗体薬」の2つの種類があります。小分子化合物は、分子標的治療薬のうち、薬の成分となっている物質(化合物)の大きさが比較的小さいものです。がん細胞の増殖に関わるタンパク質を標的にして、細胞の中に入り込み、細胞を増やす信号が送られてきても受け取らないように阻害します。抗体薬の中には、がん細胞の表面にあらわれるタンパク質と結合して、がん細胞を直接攻撃するものもあれば、がん細胞を直接攻撃するのではなく、がん

細胞の周りの環境に働きかけて間接的に作用するものもあります。

免疫チェックポイント阻害薬

私たち

の体内には、異物の侵入を排除して、体を守る抵抗力を備えた「免疫細胞」があります。がん細胞の中には、免疫細胞と結合することによって、免疫細胞にブレーキをかけ、その攻撃から逃れる仕組みをもっているものがあります。免疫チェックポイント阻害薬は、がん細胞と免疫細胞が結合できないように邪魔をすることで、免疫細胞にかかれたブレーキを外して、自分の免疫細胞が、がん細胞を攻撃できるようにする薬です。

薬剤の副作用

分子標的治療薬、免疫チェックポイント阻害薬は、がん治療において大変重要な薬剤ですが、「副作用はほとんど

出ないか、軽いものばかりであるというわけでは決してありません。重篤な副作用が出ることもあります。「細胞障害性抗がん剤とは異なる副作用が出るかもしれない薬である」ことを十分に理解した上で、安全に治療を続けていくことが必要です。副作用の症状や発症時期等は、薬剤ごとに特徴がありますので、医師や薬剤師から詳しく説明を受けてご確認ください。

当院の特徴

当院では常勤医の専門性から、消化器領域のがんに対する化学療法が右記対象疾患に多く行われております。

また、血液のがんや婦人科のがん等、がんの領域によっては君津中央病院、亀田総合病院、千葉県立がんセンター等と連携して治療を行っております。

対象疾患
食道がん、胃がん、大腸がん、肝胆膵がん、乳がん など



がん薬物療法において、薬剤師はどのような役割でしょうか。

薬局長 松井 和之

がん薬物療法は、抗がん剤の治療効果と安全性の観点から、病院ごとに登録されている標準治療計画(レジメン)に基づいて行われる治療です。



薬剤師はがん薬物療法においては主に「レジメンの管理」「抗がん剤調製」「服薬指導」をしています。抗がん剤調製は、患者さんの治療内容・体格・検査値などの情報から抗がん剤の種類や投与量、投与間隔が適切であるかを判断し、注射用抗がん剤を無菌環境下で正確に量り取り、点滴用輸液バッグなどに混ぜることで

また服薬指導や、治療開始後の副作用モニタリングを行い、副作用の予防や早期発見によって治療の質を向上させる取り組みにも力を注いでいます。

がん薬物療法によって現れる副作用は人それぞれです。使う抗がん剤の種類によっても副作用の症状は異なり、症状の現れ方も個人差があります。大切なことは、予想される副作用を十分に理解し、その対処をすばやく行うことです。「副作用症状かもしれない」と思ったら、いつでも医師・看護師・薬剤師にご相談ください。

治療のこと、家族のことなど様々な心配や不安を抱えて日々を過ごしていると思います。外来治療では看護師が患者さんと関わる時間が限られていますが、少しでも多く、患者さんのいろんな思いを伺えたら嬉しいです。

今後も患者さんに寄り添う看護を大切にしていきたいと思っています。

医療スタッフ Voice

病棟看護師の役割

3A病棟看護師 萩原 桂

病棟看護師は、抗がん剤治療によって患者さんの生活の質が低下しないよう、症状を観察しながら生活の維持、向上を目標に看護しています。



そのため、がん治療レジメンを安全に行うための投与時間の管理、暴露対策の他、副作用症状の聴取・観察や、緩和・改善に向けた看護を中心にを行っています。

また、副作用による摂食障害に対し栄養科と個人対応食を検討する、経済的な問題が生じた場合は医事課や医療相談室へ案内するなど、他部署と連携し状況に応じたケアを行っています。

副作用は投与する薬剤によって症状は異なり、その強弱や現れる時期にも個人差があるため、副作用予防対策や症状出現時の対応策についてのアドバイスをを行います。治療は長期に渡ることがあり、患者さんによっては様々な不安を抱え、心に疲労を感じてしまうことがあります。患者さんの思いを確かめ、意思を尊重しながら心身の負担が軽減できるよう寄り添った看護を心掛けています。

外来看護師の役割

外来看護師 古明地 聡子

当院では外来化学療法室を設置しています。この化学療法室は、がん患者さんが外来で抗がん剤等を使用する治療を受けるための部屋です。少しでもリラックスして治療を受けていただけるように、テレビを装備し、リクライニングベッドを設置しています。



がん患者さんは病気や

リハビリテーション科の取り組み

透析中リハビリテーションについて

玄々堂木更津クリニック

リハビリテーション科 科長

保坂 聡

当院を受診される患者さんには、慢性腎臓病保存期の方や透析治療をされている方が多くいらっしゃると思いますが、今回は、慢性腎臓病に対する腎臓リハビリテーションの効果とリハビリテーション科の取り組みについてお話をさせていただきます。

慢性腎臓病患者さんの抱える問題の一つに、骨格筋減少が起きやすいことが挙げられます。筋肉は食事から摂取したタンパク質、アミノ酸から合成されて作られますが、慢性腎臓病ではこの筋タンパク合成が起りにくく、筋肉量が減少しやすくなってしまうのです。そのため、慢性腎臓病に対する腎臓リハビリテーションが注目されています。筋タンパク合成の最大刺激因子は運動です。腎臓リハビリテーションによって筋肉量、運動耐容能を向上させ、身体機能・健康状態の悪化（フレイル・サルコペニア）を防ぐことが重要です。また、腎臓リハビリテーションの効果として、慢性腎臓病の増悪が抑制され透析導入を遅らせることができたり、透析患者さんの生命予後改善効果が見られたりするなど様々な良い研究報告がなされています。



透析中リハビリ(自転車漕ぎ)の様子

通所リハビリテーションについて

リハビリテーション科 主任

須藤 貴大

玄々堂じんくクリニックでは、介護保険による通所リハビリテーションを行っております。利用者さんはご自宅から施設の送迎サービスにて来所され、入浴・昼食などの介護サービスを受けたり、体操やレクリエーション、テレビ鑑賞を行ったりして和やかに過ごされています。もちろん、病院での医療のリハビリと兼任のセラピストによる個別

の時間を有効活用するため透析中リハビリテーションに取り組んでいます。透析中リハビリテーションの内容は、ベッドに寝ながら駆動できる自転車を用いた有酸素運動やセラバンド（ゴム製バンド）を用いた筋力強化運動が中心です。

のリハビリテーションにも力を入れております。

通所リハビリテーションの利用には、介護保険の要介護認定(要支援1〜2、要介護1〜5)が必要になります。具体的な流れとしては、各市町村にて介護保険を申請・取得後、介護認定を受け、担当ケアマネージャーを決定します。こちらの手続きを行っていただいた後、担当ケアマネージャーへ玄々堂じんくクリニックの利用希望をお伝え下さい。その後の利用開始までの手続きは各担当が調整させていただきます。ケアマネージャーよりご連絡させていただきます。また、今年の10月には玄々堂木更津クリニックが新築移転し、こちらでも介護保険による通所リハビリテーションを開始する予定です。ご利用までの流れは玄々堂じんくクリニックと同様になります。

正しい杖の使い方

リハビリテーション科 橋島 宏樹

患者さんから「最近、外来で杖をつけて歩いている人が増えたと思う」という話を聞きました。杖は主に加齢やケガ・病気等によって足腰の筋力が衰え、歩行のバランスが悪くなった人や一人で歩くの



に自信がない人が使用するものですが、最近ではコロナ禍での外出自粛、運動不足も杖を使う人が増えた理由の一つではないかと思えます。また、股関節や膝関節の手術をして、その後のリハビリや歩行練習で杖を使い始めた、という方もいらっしゃるかと思います。杖は歩行の安定性を補助する便利なものですが、自分の体に合った使い方を理解しておくことが重要です。今回は、正しい杖の使い方を簡単にご紹介します。

- 杖の持ち方…基本的に動きの悪い方や、痛みがある方の足(患側)といいますが患側の人は、右手に杖を持ちます。左足が患側の人は、右手に杖を持ちます。
- 杖の高さ、杖の位置…杖の高さは、立った時の床〜手首の高さに合わせます。杖をつく位置はつま先から15cm前、15cm外側にします。この時、肘が軽く曲がった状態(30度くらい)になります。
- 歩き方…初めは、杖を前に出す↓患側の足を出す↓杖側の足を出す、といった3動作でゆっくりと歩いてみましょう。徐々に慣れてバランスが安定してきたら、杖と患側を同時に出す↓健側の足を出す、といった2動作で歩くと歩き方がよりスムーズになります。

当院における

感染制御組織の活動紹介

感染管理室 師長 永塚 藍

感染制御組織には、来院されるすべての方を感染症から守り、安全で安心な医療を提供する役割があります。そのためには、職員が常日頃から感染予防策の必要性を認識し実践できる環境を作ることが必要です。これらの取り組みを効率的に遂行するため、当院では左記の組織を設置しています。

新型コロナウイルス 分類見直し		
	2類相当	5類
入院	感染症指定医療機関や都道府県が認めた医療機関	限定なし
費用	公費負担	原則自己負担
行動制限	あり	なし
患者数	全数報告	定点報告

院内感染についての諸問題に対する最高決定機関として組織され、各部門の責任者が中心となり院内感染に関する諸問題に管理的な立場から介入します。特に、職員研修に関しては、すべての職員が感染予防の知識を会得し業務に活かすことができるよう、テーマの選定などにも積極的にかかわっています。

感染制御委員会

院長の直接的管理下にあり、当院の感染予防を実践するためのチームです。当院で発生する病原体や使用される抗菌薬の状況を把握したうえで、病院内の環境管理や手指消毒の実施状況を確認し、必要時現場への指導を行います。また、君津中央病院をはじめとする近隣病院との感染対策合同カンファレンスへ参加し感染症情報を共有することで、地域全体の感染予防に努めています。

感染制御チーム

看護師や看護助手は、医療の提供者として患者に最も近い立場から感染対策を実行しています。リンクナースメンバーは、看護部職員が感染予防の基本を身に着け、当院を利用される方へいかに安全なケアを提供することができるかを常に考え、感染制御委員会や感染制御チームと共に活動しています。

感染対策リンクナース会

感染対策リンクナース会 安全な個人防護具の脱ぎ方について資料作成

ガウン脱衣手順

※手指消毒はのタイミングで行います

- ①手首外側をつまむ
- ②手袋を中表を外す(外した手袋は手袋している手で丸めて握る)
- ③指先を手袋と手首の間に入れながら中表を外し、破棄する
- ④左右方後肩を持ちながら前方へ内側に巻き込むように胸元まで脱ぐ(汚染している箇所は避ける)
- ⑤一方の袖の内側に指を入れ手を引き抜く(この際、引き抜く手は内側のガウンをつまみ、中表になるようにガウンを持ちながら手を引き抜く)
- ⑥もう一方の袖の内側に指を入れ 同様に内側のガウンをつまむ
- ⑦外側に触れないように内側から手を入れ、袖口から手を引き抜く
- ⑧中表にしながら腰部分までまとめ、前方へ引きガウンを外す
- ⑨ある程度まとめ医療廃棄へ捨てる(小さくまとめる必要はない)

R5.4月 感染制御委員会リンクナース会作成

新型コロナウイルスは5類感染症となりましたが、依然として感染力の強い疾患です。また、インフルエンザや麻疹(はしか)の発生もあり、当院ではかぜ症状のある方へ特別診療を継続しております。ご不便をおかけいたしますが、今しばらくご理解とご協力をお願いいたします。

糖尿病外来のご紹介

糖尿病認定看護師
外来看護師主任 町田 洋子

外来受診時は看護師・フ
ラークによる患者さんの血
圧・体重の確認から始まり、
最近の体調や採血データを
見ながら、生活の変化や困
りごとを聞き取り、医師の
診察に繋がっています。

糖尿病外来は各コメディ
カルとの連携を心掛け、情
報共有しながら、患者さん
と一緒に歩んでいくことを
目標にしています。

糖尿病治療は食事・薬と
並んで運動療法が重要で
す。有酸素運動を中心に、
ストレッチなどご自宅で簡
単に行える指導を理学療法

士が行っています。

「食べる物に気を付けま
しょう」と言われて、何をど
れだけ食べたらいいか悩ん
でいませんか？

年齢・性別・食生活は個
人差があるため、ご自身の
適正なエネルギー量を知
り、その範囲で栄養バラン
スの良い食事を摂ること
とが大切です。管理栄養士
は個人に合わせ、取り組み
やすい食事療法をお話して
います。

糖尿病の治療は血糖値を
適正に保ち、糖尿病合併症
の発症・進行を抑えること

が目的です。

最新の糖尿病治療薬を積
極的に取り入れ、薬の説明
を充分行い、納得して薬を
服用していただけるよう努
めています。

薬剤師カウンターには薬
剤師が常駐し、服薬指導や
残薬調整など幅広く行っ
ています。

来院時に少しでも糖尿病
に関する疑問や生活の不安
を解消して治療に取り組
めるようにサポートします。
気軽に声をおかけくださ
い！

最新型MRI装置の導入

放射線科 科長 関根 明

5月、最新型MRI装
置、1.5テスラVantage
Gracian(Canon製)を導入
しました。



本装置はAI(人工知能)
応用技術を搭載し、最先端技
術によりこれまで以上に高画
質化が実現しました。さら
に、より精度の高い画像診断
に向けたサポートができま
す。また、撮影時に患者さん
の入るトンネルの内径が

大きくなったう
え、トンネル内
側への映像投影
機能も備わり、
閉所が苦手な患
者さんにもより
いっそう優しい
検査が可能とな
りました。

げんげん 日和



耳が遠い方とは
筆記や身振り手振り
コミュニケーションを
取ります



作:まつ

玄々堂君津病院 各お問い合わせ番号 月曜日～土曜日(祝日は除く)

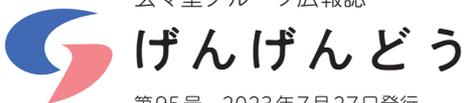
玄々堂君津病院
0439-52-2366
代表

外来診療予約
0439-52-7068
診療予約・予約変更

地域連携室
0439-52-2457
医療機関からの患者さんご紹介

総合腎臓病センター
0439-52-2750
腎臓病コーディネーター

玄々堂グループ広報誌



第95号 2023年7月27日発行

発行 者:玄々堂君津病院
発行責任者:副院長 大崎慎一
企画・編集:新聞委員会

医療法人 新都市医療研究会「君津」会

玄々堂君津病院

〒299-1144 千葉県君津市東坂田4-7-20

電話 0439-52-2366(代表)

URL <http://www.gengendo.jp>

